

枠を超えた、知の冒険

国立大学の研究所・センターは、
理学・工学、医学・生物学、人文・社会科学などをリードする
最先端研究に取り組んでいます。
最先端研究の現場での学生教育、若手研究者支援にも
熱意をもって取り組んでいます。

2022

国立大学附置研究所・センター会議
国立大学附置研究所・センター部会別一覧

 国立大学附置研究所・センター会議
<http://www.shochou-kaigi.org/>



Web連載インタビュー
「未踏の領野に挑む、知の開拓者たち」
<http://shochou-kaigi.org/interview/>



●お問い合わせ 京都大学 生態学研究センター
〒520-2113 滋賀県大津市平野2丁目509-3 TEL077-549-8200 FAX077-549-8201

Message 2022年度会長挨拶

京都大学生態学研究センターの中野伸一です。「国立大学附置研究所・センター会議」の2022年度会長を務めることになりました。就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本会議は、国立大学が法人化された平成16年度（2004年度）に「文部科学省所轄並びに国立大学附置研究所会議」を継承して発足しました。2022年4月現在、全国の32国立大学法人に設置された32の国立大学の105の研究所・センターで構成されています。

国立大学の附置研究所およびセンターは、それぞれが日本の学術研究の様々な分野をリードすることを使命として、先端的な研究課題や多様な学際研究、長期的な視野に基づく基礎研究などに取り組んでいます。また、その多くが共同利用・共同研究拠点として、国内外の研究者コミュニティに開かれた研究支援体制を整備し、研究の基盤ならびに共同研究の機会を提供することによって、個々の大学の枠を超えてわが国の学術研究を支えています。さらに、先端研究の場を学生や若手研究者に積極的に開放し、次世代研究者の育成にも大いに貢献しています。

本会議はこれまで、わが国の学術研究の発展に資する重要な提言や要望を発信し続けてきました。また、各研究所・センターのユニークな研究活動をウェブサイト等で紹介するとともに、公開シンポジウムを開催することによって情報発信にも力を入れています。今後さらに「研究の見える化」を推進することにより、附置研究所・センターが担っているそれぞれの学問分野における研究の動向を、広く皆様を知っていただきたいと思います。

私たちは、附置研究所・センターがわが国の学術研究の中核としての役割を担っていることを強く認識し、引き続きその発展に貢献したいと思います。皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2022年度会長
京都大学
生態学研究センター

中野 伸一 センター長

第一部会の活動

Science and Technology

1

①地球規模の気候変動と海洋生態系の応答

雪氷圏の気候変化による生態系変化と、人間社会への影響について研究しています。東ベーリング海陸棚海域調査では、調査した159種の生物中の91%の種が生息する高い生物多様性を有する非常に狭い海域を発見し、この海域が海洋環境変化の小さい緩衝海域であり、漁業資源保護にも重要であることを見出しました。

(北海道大学 北極域研究センター)

②スピントロニクスで脳型コンピュータ向け新素子

～ニューロンとシナプスの機能を一体化～

脳の仕組みに学んだコンピュータ「脳型コンピュータ」の実現に向け、脳神経回路で重要な役割を担っているニューロンとシナプスを模した人工素子の開発が期待されています。我々は、スピントロニクス技術に基づくニューロンとシナプスが統合された人工構造を作製し、脳における「同期の制御」の機能を初めて実現しました。

(東北大学 電気通信研究所)

③先端学術で牽引する共創社会の実現

環境・エネルギーの研究分野において、再生可能エネルギーや蓄電、水素エネルギー等の最先端技術に関する研究、持続可能な都市のシステムを気候やエネルギー、都市再生といった観点での研究開発に取り組んでいます。また、日本域の気象再解析データを整備し、気候変動時代における安心・安全な社会の実現及び気象データを利用する産学官公連携の社会イノベーション創出を目指すプロジェクトを進めています。

(東京大学 先端科学技術研究センター)

④多環芳香族炭化水素類の海洋生物に及ぼす影響

代謝産物を添加すると、ウニの発生が抑制され、骨片(矢印)形成が抑制されます。

Aはウニの受精卵を18℃で42時間飼育したウニのブル

テウス幼生をカバーガラスで押しつぶして観察した写真。Bは多環芳香族炭化水素の代謝産物(4-hydroxybenz[a]anthracene, 10-7M)を添加して培養したブルテウス幼生の写真。

(金沢大学 環日本海域環境研究センター)

⑤青色レーザーによる銅の3Dプリンティング

純銅等の金属に対し高い吸収率を有する青色半導体レーザーの開発および加工技術の開発を同時に推進し、独自のアイデアであるマルチビーム照射によって純銅の3Dプリンティングに成功しました。純銅加工は、カーボンニュートラルに貢献する電気自動車開発に必要な不可欠な技術であることから、青色半導体レーザー加工技術に期待が集まっています。

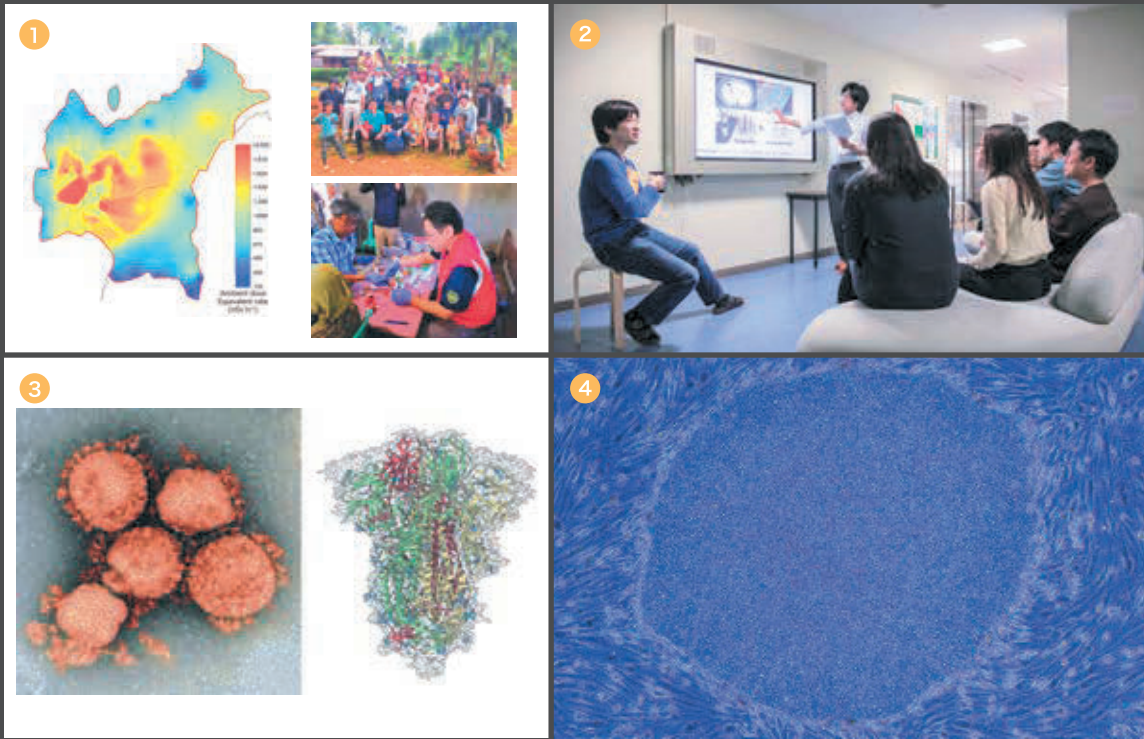
(大阪大学 接合科学研究所)

⑥酸(窒)化物ナノシート積層形燃料電池の開発

酸素とケイ素からなるシリケートナノシートや新しい酸窒化物ナノシートの合成方法を開発しました。また、これらのナノシートが特定の結晶軸に配向積層した透明な自立膜を創成し、室温で駆動する水素燃料電池の電解質として機能することを見出しました。

(熊本大学 産業ナノマテリアル研究所)

図1. 開発したシリケートナノシート: (a)分散溶液, (b)モデル構造, (c)原子力顕微鏡像, (d)粉末, (e)自立膜。



第二部会の活動 Medical and Biology

2

①新たな高自然放射線地域における包括的影響調査
 インドネシア・スラウェシ島で新たに発見された高自然放射線地域において国際共同研究を展開しています。放射線・放射性核種の地理的分布やその成因など放射生態学的な調査研究や、現地住民の健康影響調査に基づく低線量慢性放射線被ばくによる生体影響に関する知見を蓄積するとともに、当該地域では根付いていない放射線防護の基盤構築に貢献しています。
 (弘前大学 被ばく医療総合研究所)

②世界に開かれた研究所を目指して
 研究所の研究力強化、透明性向上、及び国際連携推進を目指し、海外の著名な研究機関と交流するための拠点形成を進めています。具体的には、イタリア・分子腫瘍学財団研究所やスウェーデン・カロリンスカ研究所との研究者交流を行うため、各機関における定量研の研究室設置、合同テニュアトラックプログラムでの若手研究者の育成、シンポジウム開催等、様々な取り組みを行っています。
 (東京大学 定量生命科学研究所)

③新型コロナウイルスの多分野融合研究
 未だ流行が続く新型コロナウイルス感染症に対し、ウイルス学、免疫学、構造生物学、発生学、再生医学等の研究者が連携し、新型コロナウイルスの増殖機構、病原性発現機構、感染制御に関する基礎研究を進めています。
 (京都大学 医生物学研究所 (R4.4.1 付ウイルス・再生医科学研究所より名称変更))

④iPS細胞、再生医療、創薬開発、基礎研究
 iPS細胞研究所は、iPS細胞の基礎研究から臨床研究までをシームレスに推進するために設立されました。現在、未来生命科学開拓部門、増殖分化機構研究部門、臨床応用研究部門、基盤技術研究部門、上廣倫理研究部門の5つの研究部門に分かれ、iPS細胞技術を創薬や再生医療に応用することを目指した研究に取り組んでいます。
 (京都大学 iPS細胞研究所)

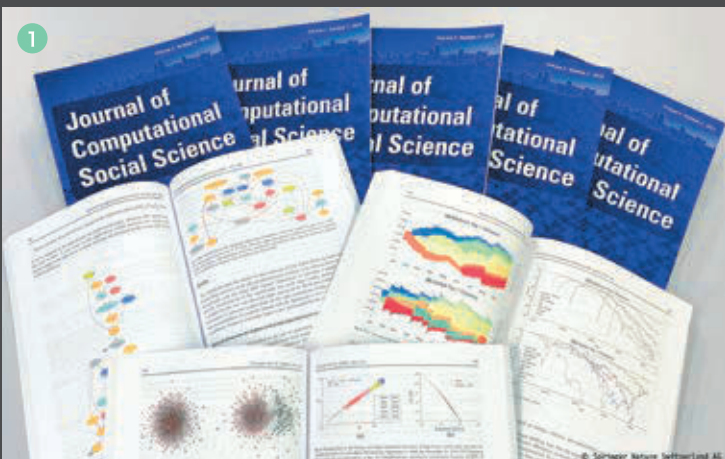
第三部会の活動

Humanities and Social Science

3

①計算社会科学における世界初の査読誌
 2018年1月に、計算社会科学における世界初の国際査読雑誌として、Springer社より『Journal of Computational Social Science』を創刊した。創刊から3年間で100本以上の論文を掲載し、計算社会科学研究の発表の場として既に国際的に広く認識されている。
 (神戸大学 計算社会科学センター)

②MAHSプロジェクト
 アジア島嶼部では、海域を行き交う人々により多様な地域文化が多層的に形成されてきましたが、地球温暖化による気候変動や急速かつ無計画な開発等の影響で、重要な遺跡やモニュメントが脅威にさらされています。プロジェクトでは、これらの歴史的・考古学的遺産をデジタル・アーカイブ化し、全世界からオープンアクセスでDBの構築に取り組んでいます。
 (京都大学 東南アジア地域研究所)



1

理工学系 第1部会の研究所・研究センター Science and Technology

第1部会シンポジウム

令和4年10月頃

担当：東京工業大学 科学技術創成研究院ゼロカーボンエネルギー研究所



2022年度 第1部会長
東北大学 電子光理学研究センター センター長
須田 利美

- 1 北海道大学 低温科学研究所 (○)
低温、寒冷圏、水・物質循環、雪氷、宇宙物質、生物環境、環オホーツク
<http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/>
- 2 北海道大学 電子科学研究所 (○)
複合領域ナノサイエンス、光科学、物質科学、生命科学、数理科学
<https://www.es.hokudai.ac.jp/>
- 4 北海道大学 触媒科学研究所 (○)
触媒、表面化学、電極表面、光触媒、炭素資源変換、有機材料、高分子、触媒理論化学、実用化基盤技術開発
<http://www.cat.hokudai.ac.jp/>
- 7 北海道大学 北極域研究センター (○)
北極域、大気圏・水圏、陸圏、雪氷圏、環境工学、人文社会科学、衛星観測・モデリング
<https://www.arc.hokudai.ac.jp/>
- 10 東北大学 金属材料研究所 (※)
材料物性、材料設計、物質創製、材料プロセス・評価、エネルギー材料、社会基盤材料、エレクトロニクス材料
<http://www.imr.tohoku.ac.jp/>
- 12 東北大学 流体科学研究所 (○)
流体、流動、統合流動科学、環境・エネルギー、ナノ・マイクロ、健康・福祉・医療、宇宙航空、融合研究
<https://www.ifs.tohoku.ac.jp/>
- 13 東北大学 電気通信研究所 (○)
情報デバイス、ブロードバンド通信、人間情報システム、システム・ソフトウェア工学、ナノエレクトロニクス・スピントロニクス、ブレインウェア
<http://www.riec.tohoku.ac.jp/ja/>
- 14 東北大学 多元物質科学研究所 (○)
多元物質科学、有機・無機ハイブリッド材料、プロセスシステム・デバイス工学、先端計測技術開発、ネットワーク型共同研究拠点
<http://www.tagen.tohoku.ac.jp/>
- 15 東北大学 災害科学国際研究所
災害科学、復旧・復興、地震、津波、自然災害、災害医学、レジリエンス
<https://irides.tohoku.ac.jp/>
- 17 東北大学 電子光理学研究センター (○)
1.3 GeV 高エネルギー電子シンクロトロン、60 MeV 大強度電子直線加速器、電子光ビーム、ハドロン物理、原子核物理、放射化学、ビーム物理
<https://www.lns.tohoku.ac.jp/>
- 18 東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター
放射光科学、次世代計測科学、材料科学、物質組成構造解析、ナノサイエンス、量子ビーム
<https://www.sris.tohoku.ac.jp/>
- 19 筑波大学 計算科学研究センター (○)
学際計算科学、計算機科学、スーパーコンピュータ
<https://www.ccs.tsukuba.ac.jp/>
- 21 筑波大学 アイソトープ環境動態研究センター (○)
福島第一原子力発電所事故、放射能、アイソトープ、核関連施設、環境、水循環
<http://www.ied.tsukuba.ac.jp/>
- 25 千葉大学 環境リモートセンシング研究センター (○)
リモートセンシング、地理情報、大気環境、陸域環境、気候変動、モデル統合
<https://ceres.chiba-u.jp/>
- 27 東京大学 地震研究所 (○)
地震、火山噴火、津波、地球内部構造、計算地球科学、自然災害、観測固体地球科学
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/>
- 30 東京大学 生産技術研究所
工学全般(基礎系、機械・生体系、情報・エレクトロニクス系、物質・環境系、人間・社会系)、産学連携、国際連携、地域連携
<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/>
- 33 東京大学 宇宙線研究所 (※)
宇宙線、ニュートリノ、重力波
<https://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/>
- 34 東京大学 物性研究所 (○)
物性科学、物性理論、量子物質、機能物性、ナノサイエンス、量子ビーム、強磁場、光科学、計算物質科学
<https://www.iissp.u-tokyo.ac.jp/>
- 36 東京大学 先端科学技術研究センター
材料、情報、環境・エネルギー、生物医化学、バリアフリー、社会科学
<https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/>
- 37 東京大学 素粒子物理国際研究センター (○)
素粒子物理、CERN LHC-ATLAS実験、PSI MEG実験、国際リニアコライダーILC、陽子・陽子衝突、ヒッグス粒子、超対称性理論、統一理論、量子AIテクノロジー
<https://www.icepp.s.u-tokyo.ac.jp/>
- 38 東京大学 空間情報科学研究センター (○)
GIS、時空間解析、時空間センシング、空間データ基盤
<http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/>
- 39 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 (○)
バイオマテリアル、医療デバイス・システム、生体機能分子、生体医歯工学
<https://www.tmd.ac.jp/ibb/>
- 42 東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 (○)
高分子、超分子、ナノ粒子、バイオマテリアル、ソフトマテリアル、ケミカルバイオロジー、バイオマス
<http://www.res.titech.ac.jp/index.html>
- 43 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 (○)
知能化学、情報イノベーション、電子機能システム、量子ナノエレクトロニクス、フォトニクス集積システム、先進メカノデバイス、融合メカノシステム、創形科学、先端材料、都市防災、異種機能集積、応用 AI、生体医歯工学、知的材料デバイス
<http://www.first.iir.titech.ac.jp/index.html>
- 44 東京工業大学 科学技術創成研究院 フロンティア材料研究所 (○)
セラミックス、機能性酸化物、先端材料、建築構造・材料、耐震・制振
<https://www.msl.titech.ac.jp/index.html>
- 45 東京工業大学 科学技術創成研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所
カーボンニュートラル、グリーン・トランスフォーメーション、再生可能エネルギー、原子力エネルギー、炭素循環、物質循環、エネルギー貯蔵、新型炉、原子力材料・応用
<http://www.zc.iir.titech.ac.jp/>
- 48 新潟大学 災害・復興科学研究所
自然災害科学、豪雪、極端気象、地震、噴火、土砂・洪水災害、複合連動災害、減災対策、復興、危機管理
<http://www.nhdr.niigata-u.ac.jp/>
- 51 金沢大学 環日本海環境研究センター (○)
越境汚染、国際共同研究拠点、統合環境研究、有害化学物質、大気観測スーパーサイト、低レベル放射能計測
<http://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/>
- 52 静岡大学 電子工学研究所 (○)
イメージングデバイス、ナノエレクトロニクス、ナノフォトニクス、ナノマテリアル
<https://www.rie.shizuoka.ac.jp/>
- 53 静岡大学 グリーン科学技術研究所
グリーン分子創造技術、生物分子機能、植物ストレスマネジメント、植物ゲノミクス、フィールドドインフォマティクス、超分子・分子集合体、新エネルギー
<https://green.shizuoka.ac.jp/>

55 名古屋大学 未来材料・システム研究所 (○)
革新的省エネルギー技術、高度計測技術、次世代半導体材料・デバイス、持続可能な社会のためのシステム技術
<https://www.imass.nagoya-u.ac.jp>

56 名古屋大学 宇宙地球環境研究所 (○)
太陽地球系科学、宇宙線、太陽、太陽風、電磁気圏、超高層大気、気象学、海洋学、水循環、地球表層、鉱物学、考古学、年代測定
<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/>

59 京都大学 化学研究所 (※)
化学、元素科学、物性科学、生物・情報学、ビーム科学、および学際プラットフォーム
<https://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/>

60 京都大学 エネルギー理工学研究所 (○)
ゼロエミッションエネルギー、プラズマ・量子エネルギー、ソフトエネルギー、核融合エネルギー利用、高効率太陽光エネルギー利用、バイオリファイナリー、カーボンネガティブエネルギー
<http://www.iae.kyoto-u.ac.jp/>

61 京都大学 生存圏研究所 (○)
生存圏科学、環境診断・循環機能制御、太陽エネルギー変換・高度利用、宇宙生存環境、循環材料・環境共生システム、高品位生存圏
<http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/>

62 京都大学 防災研究所 (○)
防災学、減災学、災害学理、自然災害科学、地震災害、火山災害、地盤災害、気象災害、水災害、総合防災
<https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp>

63 京都大学 基礎物理学研究所 (○)
素粒子論、原子核理論、物性理論、宇宙論、量子情報理論
<https://www.yukawa.kyoto-u.ac.jp/>

65 京都大学 数理解析研究所 (※)
数学、数理科学
<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/ja/>

66 京都大学 複合原子力科学研究所 (○)
研究用原子炉、加速器、核エネルギー利用、放射線利用、複合原子力科学
<https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/>

72 大阪大学 産業科学研究所 (○)
情報科学、量子科学、材料科学、ビーム科学、生体科学、分子科学、ナノテクノロジー、AI
<https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/>

75 大阪大学 接合科学研究所 (○)
接合科学、溶接・接合技術、国際研究連携、ものづくり基盤技術、産学共創事業
<http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/index.html>

76 大阪大学 レーザー科学研究所 (○)
レーザー科学、プラズマ科学、高エネルギー密度科学、レーザー核融合科学
<https://www.ile.osaka-u.ac.jp/ja/index.html>

77 大阪大学 核物理研究センター (※)
原子核物理学、ハドロン物理学、加速器物理学、計算物理学
<https://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/>

82 岡山大学 惑星物質研究所 (○)
地球惑星物質科学、惑星深部ダイナミクス、高温高压実験、鉱物・マグマ物性、主要・微量元素分析、同位体分析、年代測定、アストロバイオロジー
<https://www.misasa.okayama-u.ac.jp/jp/>

83 岡山大学 異分野基礎科学研究所
数理学、量子宇宙、光合成、進化、構造生物学、錯体化学、超伝導、有機エレクトロニクス材料、理論科学
<http://www.riis.okayama-u.ac.jp/>

86 広島大学 ナノデバイス研究所 (○)
半導体、ナノ集積科学、集積システム科学、分子生命情報科学、集積医科学
<https://www.rnbs.hiroshima-u.ac.jp/>

87 広島大学 放射光科学研究センター (○)
放射光、超伝導、スピン、物性・生命異分野融合、高輝度小型放射光源、人材育成
<http://www.hsrb.hiroshima-u.ac.jp/>

90 愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター (○)
超高压実験、第一原理計算、地球ダイナミクス、鉱物物性、相転移、地球深部、マントル、核、レオロジー、地球深部水、スーパーアース、惑星科学、ダイヤモンド、新物質合成
<http://www.grc.ehime-u.ac.jp/>

91 愛媛大学 沿岸環境科学研究センター (○)
生物環境試料バンク、内分泌かく乱化学物質、生態影響、環境毒性学、ワンヘルス、東南アジア、沿岸海洋、低次生態系
<http://www.cmes.ehime-u.ac.jp/>

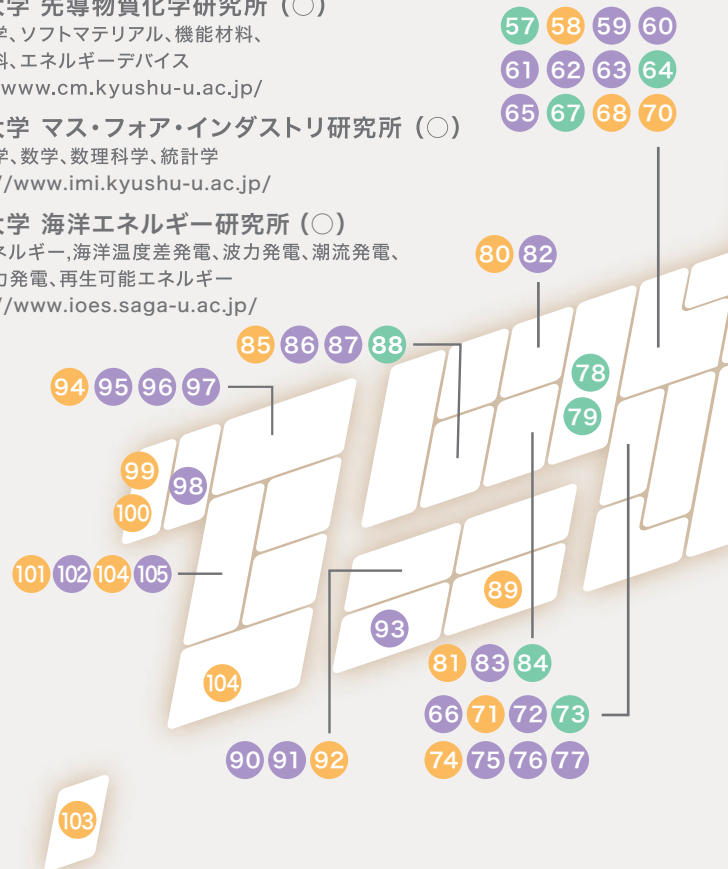
93 高知大学 海洋コア総合研究センター (○)
国際深海科学掘削計画 (IODP)、地球掘削科学、地球環境システム変動、海底資源学、海洋天然物化学
<http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/>

95 九州大学 応用力学研究所 (○)
応用力学、核融合力学、新エネルギー力学、地球環境力学
<https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/>

96 九州大学 先導物質化学研究所 (○)
物質化学、ソフトマテリアル、機能材料、炭素材料、エネルギーデバイス
<http://www.cm.kyushu-u.ac.jp/>

97 九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 (○)
産業数学、数学、数理科学、統計学
<https://www.imi.kyushu-u.ac.jp/>

98 佐賀大学 海洋エネルギー研究所 (○)
海洋エネルギー、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電、洋上風力発電、再生可能エネルギー
<https://www.ioes.saga-u.ac.jp/>



センター部会別一覧

Institutes and Centers of
al Universities

2

医学・生物学系
第2部会の研究所・研究センター
Medical and Biology



2022年度 第2部会長
北海道大学 遺伝子病制御
村上 正晃

第2部会シンポジウム
令和4年11月頃
担当:群馬大学 生体調節研究所

102 熊本大学 産業ナノマテリアル研究所
二次元ナノマテリアル、ナノシート、表面・粒界、
AI、爆発プロセス、バイオエレクトロニクス
<http://www.iina.kumamoto-u.ac.jp>

105 熊本大学・富山大学
先進軽金属材料国際研究機構 (○)
軽金属材料、マルチマテリアル化、軽量強度材料、輸送機器、生体材料、
材料工学、物理学、機械力学、構造科学、計算科学
<https://ilm2021.com/>

9 弘前大学 被ばく医療総合研究所 (○)
放射線(能)計測、物理線量評価、生物学的線量評価、放射線生物学、
バイオアッセイ、環境放射生態学、環境動態、分析化学、人材育成、被ばく医療体制
<http://irem.hirosaki-u.ac.jp>

11 東北大学 加齢医学研究所 (○)
加齢制御、腫瘍制御、脳科学、環境ストレス老化、スマート・エイジング、医療機器開発
<http://www.idac.tohoku.ac.jp/>

20 筑波大学 つくば機能植物イノベーション研究センター (○)
遺伝資源、遺伝子組換え植物、ゲノム編集植物、特定網室、
環境影響試験圃場、リスク分析、LMO/GMO理解増進
<https://www.t-pirc.tsukuba.ac.jp/>

22 筑波大学 下田臨海実験センター
海洋生物学、生物多様性、進化発生系統、
海洋生態、海洋環境、海洋酸性化
<http://www.shimoda.tsukuba.ac.jp/>

23 群馬大学 生体調節研究所 (○)
内分泌・代謝、生活習慣病、細胞生物学、ゲノム・エピゲノム解析
<https://www.imcr.gunma-u.ac.jp/>

24 千葉大学 真菌医学研究センター (○)
病原真菌・放線菌、臨床感染症、免疫、病原真菌・放線菌バイオリソース
<http://www.pf.chiba-u.ac.jp>

26 東京大学 医科学研究所 (※)
医科学研究、感染症、がん、免疫・神経・筋疾患、加齢性疾患、
ヒトゲノム解析、疾患システム研究、再生医療、プレジジョン・メディシン、
遺伝子・細胞治療、ELSI研究、トランスレーショナル・リサーチ、AI 医科学
<https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/imsut/jp/>

32 東京大学 定量生命科学研究所
構造生物学、ゲノム科学、脳科学、データ再現性、免疫、感染
<https://www.iqb.u-tokyo.ac.jp/>

35 東京大学 大気海洋研究所 (○)
海洋、大気、地球科学、気候変動、海洋生物資源、地球生命圏
<https://www.aori.u-tokyo.ac.jp/>

40 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 (○)
難治疾患、基礎生物学、ゲノム応用医学、難治病態、先端分子医学
<https://www.tmd.ac.jp/mri/>

47 新潟大学 脳研究所 (○)
基礎・臨床神経学、精神神経疾患、バイオリソース、
統合脳機能、神経病理学、ヒト脳科学、システム脳病態学
<https://www.bri.niigata-u.ac.jp/>

49 富山大学 和漢医薬学総合研究所
漢方医学、伝統医学、病態薬効解析、生薬・天然物分析、データベース
<https://www.inm.u-toyama.ac.jp>

50 金沢大学 がん進展制御研究所 (○)
発がん、悪性化、がんモデル、微小環境、幹細胞、分子標的
<http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/>

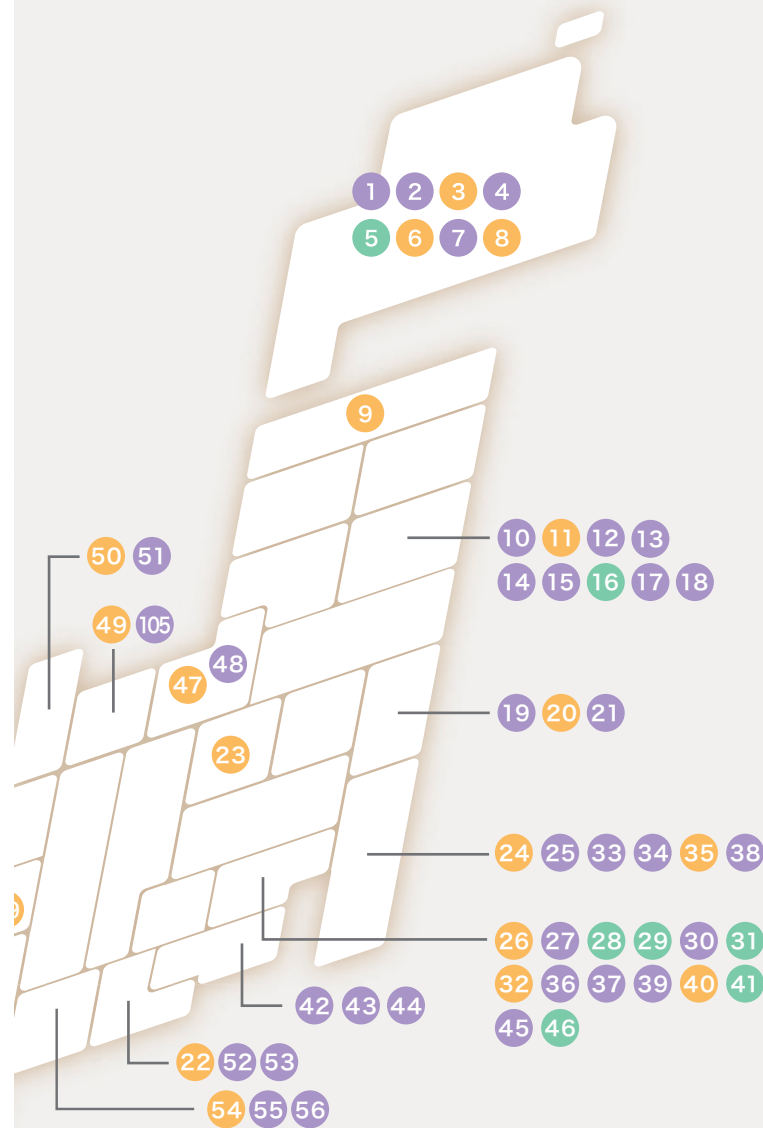
54 名古屋大学 環境医学研究所
次世代創薬、ストレス受容・応答、生体適応・防御、
新規治療法・予防法、脳神経系、内分泌、代謝、ゲノム制御
<http://www.riem.nagoya-u.ac.jp/>

58 京都大学 医生物学研究所 (○)
ウイルス学、生命科学、分子生物学、細胞生物学、
組織再生、幹細胞、医工学、再生医療、免疫学
<http://www.infront.kyoto-u.ac.jp/>

3 北海道大学 遺伝子病制御研究所 (○)
感染症、免疫学、感染症、腫瘍、炎症、基礎医学、生命科学
<http://www.igm.hokudai.ac.jp/>

6 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 (○)
人獣共通感染症、予防・診断・治療法の開発、
グローバルサーベイランス、アジア・アフリカ、One Health
<https://www.czc.hokudai.ac.jp/>

8 帯広畜産大学 原虫病研究センター (○)
原虫病、ベクター、OIEコラボレーティングセンター、
アジア・アフリカ、獣医学
<https://www.obihiro.ac.jp/facility/protozoa/>



3

人文・社会科学系 第3部会の研究所・研究センター Humanities and Social Science

第3部会シンポジウム

令和4年10月頃

担当：京都大学 人文科学研究所



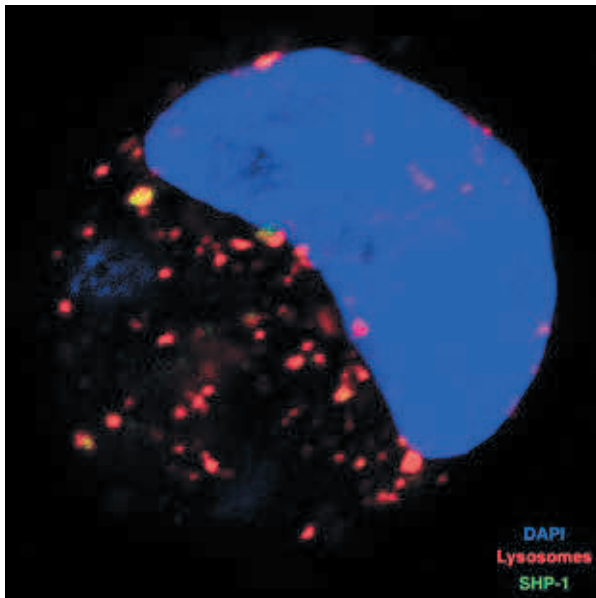
2022年度 第3部会長
京都大学 人文科学研究所 所長
稲葉 穂

研究所長

- 68 京都大学 iPS細胞研究所
iPS細胞、再生医療、幹細胞
<http://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/index.html>
- 69 京都大学 生態学研究センター (○)
生態系、生物多様性、生物間相互作用、琵琶湖、熱帯林
<https://www.ecology.kyoto-u.ac.jp/>
- 70 京都大学 野生動物研究センター (○)
野生動物、フィールドワーク、動物園・水族館、絶滅危惧種、保全
<http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/>
- 71 大阪大学 微生物病研究所 (○)
感染症、病原体、免疫、生体防御、
基礎生物学、がん、海外拠点
<http://www.biken.osaka-u.ac.jp/>
- 74 大阪大学 蛋白質研究所 (○)
蛋白質科学、構造生物学、生命科学、蛋白質合成・デザイン、
システム生物学、蛋白質情報科学
<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>
- 80 鳥取大学 乾燥地研究センター (○)
乾燥地科学、砂漠化、干ばつ、ダスト、環境修復
<http://www.alrc.tottori-u.ac.jp/index.html>
- 81 岡山大学 資源植物科学研究所 (○)
環境ストレス、遺伝資源、ゲノム育種、植物生理、
植物栄養、植物病理、生物間相互作用
<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/>
- 85 広島大学 原爆放射線医科学研究所 (○)
原爆被爆者、放射線障害、被ばく医療、放射線発癌、
ゲノム損傷修復、再生医学、医療放射線被ばく
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/rbm>
- 89 徳島大学 先端酵素学研究所 (○)
医科学、先端酵素学、糖尿病、がん、免疫疾患、慢性炎症、ゲノム、
プロテオーム、ゲノム編集、創薬イノベーション
<https://www.iams.tokushima-u.ac.jp/>
- 92 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター (○)
複合体タンパク質、インタクトーム、タンパク質相互作用解析、無細胞タンパク質合成、
近位依存性ピオチン化酵素、薬剤スクリーニング、薬剤標的探索、感染症
<https://www.pros.ehime-u.ac.jp/>
- 94 九州大学 生体防御医学研究所 (○)
多階層生体防御システム、トランスオミクス、システム免疫学、
がん生物学、発生再生医学、神経生物学
<http://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/>
- 99 長崎大学 熱帯医学研究所 (○)
熱帯医学、感染症、熱帯公衆衛生学、国際保健、
ケニア・ベトナム拠点、熱帯医学ミュージアム
<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/nekken/>
- 100 長崎大学 原爆後障害医療研究所 (○)
放射線影響学、被ばく医療、ゲノム学、腫瘍学
<https://www.genken.nagasaki-u.ac.jp/index-sjis.html>
- 101 熊本大学 発生医学研究所 (○)
発生制御、幹細胞、器官構築、臓器再建
<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/>
- 103 琉球大学 熱帯生物圏研究センター (○)
亜熱帯島嶼、サンゴ礁、マングローブ、生物多様性、
共生、遺伝資源、感染症
<https://tbc.skr.u-ryukyuu.ac.jp/>
- 104 熊本大学・鹿児島大学
ヒトレトロウイルス学共同研究センター (○)
ウイルス学、感染免疫、HIV-1/AIDS、HTLV-1/ATL/HAM、SARS-CoV-2/COVID-19、
HBV/Hepatitis B、抗ウイルス薬、ワクチン開発、中和抗体、細胞性免疫、感染動物モデル
<https://jrcrvi.jp/>
- 5 北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター (○)
スラブ・ユーラシア地域研究、ロシア、シベリア・極東、
中央ユーラシア、東欧、地域比較、境界研究
<http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/index.html>
- 16 東北大学 東北アジア研究センター
東北アジア地域研究、文理連携、自然史、歴史文化、国際関係、
環境資源、応用・社会連携
<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/>
- 28 東京大学 東洋文化研究所
東洋文化、アジア学、国際総合日本学
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/>
- 29 東京大学 社会科学研究所
社会科学の総合知、現代日本社会研究、
全所的プロジェクト研究、社会調査・データアーカイブ
日本語： <https://jwww.iss.u-tokyo.ac.jp/>
英語： <https://www.iss.u-tokyo.ac.jp/>
- 31 東京大学 史料編纂所 (○)
歴史学、日本史、歴史情報学、文献研究、文化財、史料学
<https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/index-j.html>
- 41 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 (○)
少数言語の記録・保存、中東・イスラーム圏、文化人類学、情報資源利用研究、
フィールドサイエンス
<http://www.aa.tufts.ac.jp/>
- 46 一橋大学 経済研究所 (○)
経済制度、公的統計マイクロデータ、高度実証分析拠点、
世代間問題、長期経済統計
<https://www.ier.hit-u.ac.jp/>
- 57 京都大学 人文科学研究所 (○)
人文学、人類学、社会学、情報学、科学史、
中国学、東洋学、現代中国研究
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>
- 64 京都大学 経済研究所 (○)
複雑系経済学、経済変動、ゲーム理論、組織と戦略
<https://www.kier.kyoto-u.ac.jp>
- 67 京都大学 東南アジア地域研究研究所 (○)
持続型生存基盤研究、文理融合アプローチ、フィールド・サイエンス、
相関型地域研究、地域情報学
<https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp>
- 73 大阪大学 社会経済研究所 (○)
行動経済学、経済実験、経済政策、制度設計
<https://www.iser.osaka-u.ac.jp/>
- 78 神戸大学 経済経営研究所
グローバル経済、企業競争力、企業情報、グローバル金融
<https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/>
- 79 神戸大学 計算社会科学研究所
計算社会科学
<http://ccss.kobe-u.ac.jp/>
- 84 岡山大学 文明動態学研究所
人類の誕生と文明の形成、社会の複雑化と地域社会の形成、
日本社会の縮図としての瀬戸内
<https://ridc.okayama-u.ac.jp/>
- 88 広島大学 高等教育研究開発センター
高等教育研究、大学改革、大学のガバナンス、
高等教育政策、大学教授・専門職・IR 方法論
<https://rihe.hiroshima-u.ac.jp/>

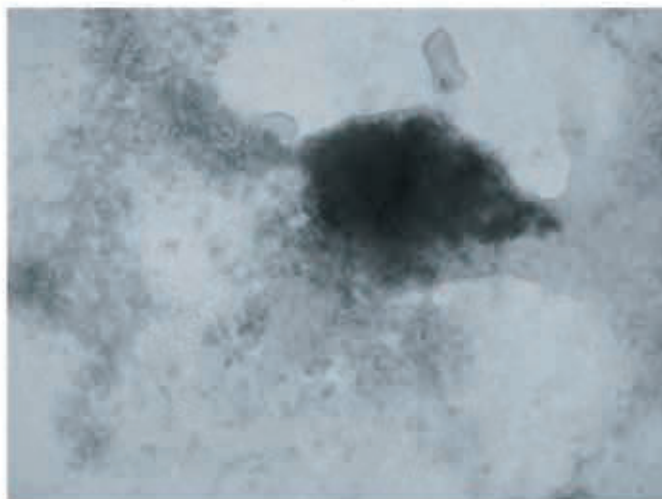
(○)共同利用・共同研究拠点
(※)国際共同利用・共同研究拠点

①

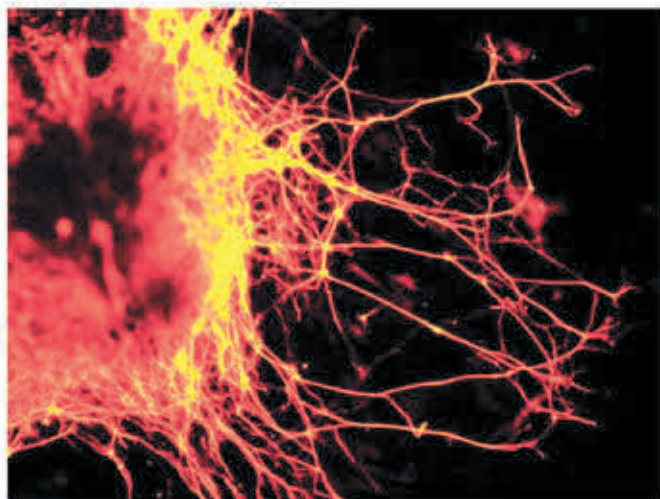


②

心筋細胞



神経細胞



表紙: マウス大脳新皮質の神経細胞

緑色蛍光タンパク質 (EGFP) により、マウス大脳新皮質の1つの神経細胞を標識し、共焦点顕微鏡にて観察した。6層構造を有する大脳新皮質の第5層に存在する錐体細胞 (興奮性の神経細胞) が、上部や側方部へ樹上突起を伸ばす様子が観察される。(名古屋大学 環境医学研究所)

裏表紙:

①「Bリンパ球のリソソーム」

Bリンパ球の抗原受容体を架橋後に、抗原受容体シグナル伝達を制御するチロシンホスファターゼ SHP-1のリソソームへの集積をコンフォーカル顕微鏡で観察した。

②「マウス ES 細胞における分化誘導」

10日間で拍動する心筋細胞、突起を有する神経細胞へと分化誘導することができる。

(東京医科歯科大学 難治疾患研究所)

「国立大学附置研究所・センター会議」は、
全国の国立大学の研究所・センターの所長・センター長が協力して
日本の学術研究を発展させることを目的とした組織です。

組織紹介

32の国立大学の105の研究所・研究センターで構成されています。

所属教員数は3,600名を超えます。

理工系中心の第1部会 (56研究所・センター)、
医学・生物系中心の第2部会 (34研究所・センター)、
人文・社会系中心の第3部会 (15研究所・センター) からなります。

主な活動

- 各研究所・センター間の学術交流と情報交換
- 文部科学省との情報交換
- 学術研究政策に対する問題提起や提言
- 研究所・センターが行っている研究の広報
- 最先端研究を紹介するためのシンポジウムの開催